

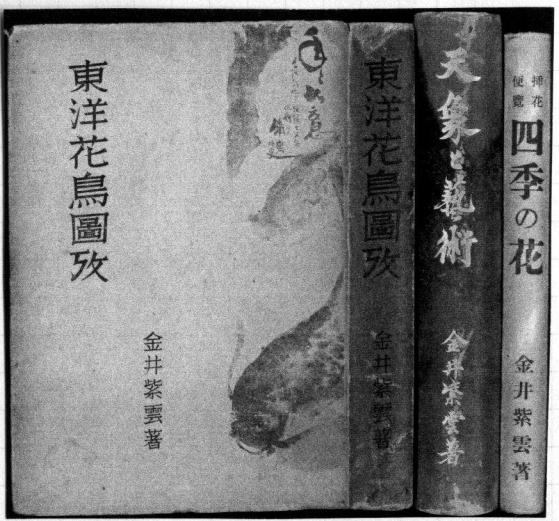
金井紫雲

ひなぶ 美術評論家。明治二十二年一月一日誕生れ、昭和

十九年一月十九日没（一八八一—九五）。本名泰二郎。明治二十五年上

古川の獨學、山内道造等の勧説を得、四十一年中央新聞社に入社。大正十年編成『講談』（講談）と『美術記者』（のち編成『美術評論』）なる。池坊龍生派教員、掛瀬會館講師等。

著書に『白花恩賜賞』（大正六年十一月）、十五回の科學獎勵會「家庭的文學獎」（『白鳥』（内田清之助共著、昭和四年一月十五日）、『櫻痴』（金井紫雲著『櫻痴』（昭和十一年一月）、十六回金井紫雲著『櫻痴』）、『大學生櫻痴』（昭和十二年一月十五日京報・山庭堂）、『東洋花鳥圖譜』（昭和十八年十月）、『大雅鶯』（大雅鶯）、中華書局著『崇山庭活版』（校訂、昭和二十一年四月十五日中華書局出版部）、『千葉先生』（櫻痴畫會日記、昭和二十一年六月十五日櫻痴畫會、京報・山庭堂出版部）、『櫻痴白季の心』（昭和十五年九月）、『大雅鶯』（雅子著）等。



金井紫雲著

東洋花鳥圖攷